

お買い物支援 ～イオンとさつき町の縁結ぶ～

去る2月18日、さつき町団地の一角でイオン海老名店による出張販売が行われました。「高齢化の進んだ団地で、お年寄りの皆さんが最も求めているのが買い物のお手伝いなんです」と悩みを打ち明けてくれたのが、この団地で高齢者が集う「にこにこサロン」を運営する杉原さん。ちょうどそれと同じころ「大手スーパーもこれまで通りのやり方ではなく、御用聞きをしながら物を売るといったサービスはなくてはならない。」そんな話を私はイオン海老名店の関係者から伺っていました。そこで、早速両者を引き合わせたのが今年の初め。今回は試しにということで団地の一角に出張販売のコーナーが設けられました。今後は団地の皆さんが部屋に居ながらにして欲しい物を注文できるようなシステムを構築したいと関係者の皆さんは意気込んでいらっしゃいます。

とても良いご縁を結ぶことができ本当に良かったと思います。



この人紹介 | 参議院議員 三原じゅん子さん

今回の「この人紹介」は参議院議員、三原じゅん子さんです。先日三原さんの事務所を訪ねてお話を伺って来ましたのでその一部をご紹介します。



— こんにちは、日頃参議院での活動、そして神奈川県民会の女性局長としての活動で苦労様です。

三原 ありがとうございます。おかげ様で参議院議員としての活動も6年目となり、充実した活動をさせて頂いております。

— 今回私の会報アクティブで県立がんセンターの特集を組むのですが、三原さんが取り組まれた仕事の中でがん対策に関するものがありましたらお話頂けませんか？

三原 はい、がん対策ということであればまずは、「がん登録等の推進に関する法律」の制定があげられると思います。日本人の2～3人に一人の割合でがんが罹患しますが、それらの人々の情報を全国で一元的に管理することで、がん対策のための政策が的確に行えるようになります。

— データを集めることで例えばどういうことに効果があるのですか？

三原 がんの中でも特に多い肺がんの場合、最近では女性やタバコを吸わない人の割合が増えてい

ます。そうした全体の傾向を知り、更にそれぞれの年齢や進行度などを把握することで、がん検診を何歳でどういう人に実施すれば良いか、病院や医師はどの程度必要かなど、国が進める対策の参考になり、今後は国によるがん対策推進基本計画の見直しに役立てていきます。



— なるほど分かりました。他にはありますか？

三原 あとは乳がん治療後のインプラント乳房の保険適用を決めたことです。乳がんの手術によって乳房を失った人が乳房再建の手術を受けるのに健康保険が適用できるようにしました。

— 先ほど言われた通り日本人の二人に一人ががんにかかり、三人に一人ががんによって亡くなるという時代ですから、これに対する対策を強化して国民の救える命を救って欲しいものですね。神奈川県も県立がんセンターを中心に様々ながん対策を実施していますが、この度完成した重粒子線治療装置による治療が保険の適用を受けられない現状があります。こうした課題にも是非力を貸してください。

三原 はい、分かりました。

三原じゅん子ホームページ <http://www.miharajunco.org>

県議会予算委員会テレビ中継

3月23日(水)24日(木)25日(金) 午後6時30分より(テレビ神奈川)

私は予算委員長として登場します。県議会の様子を是非ご覧ください。

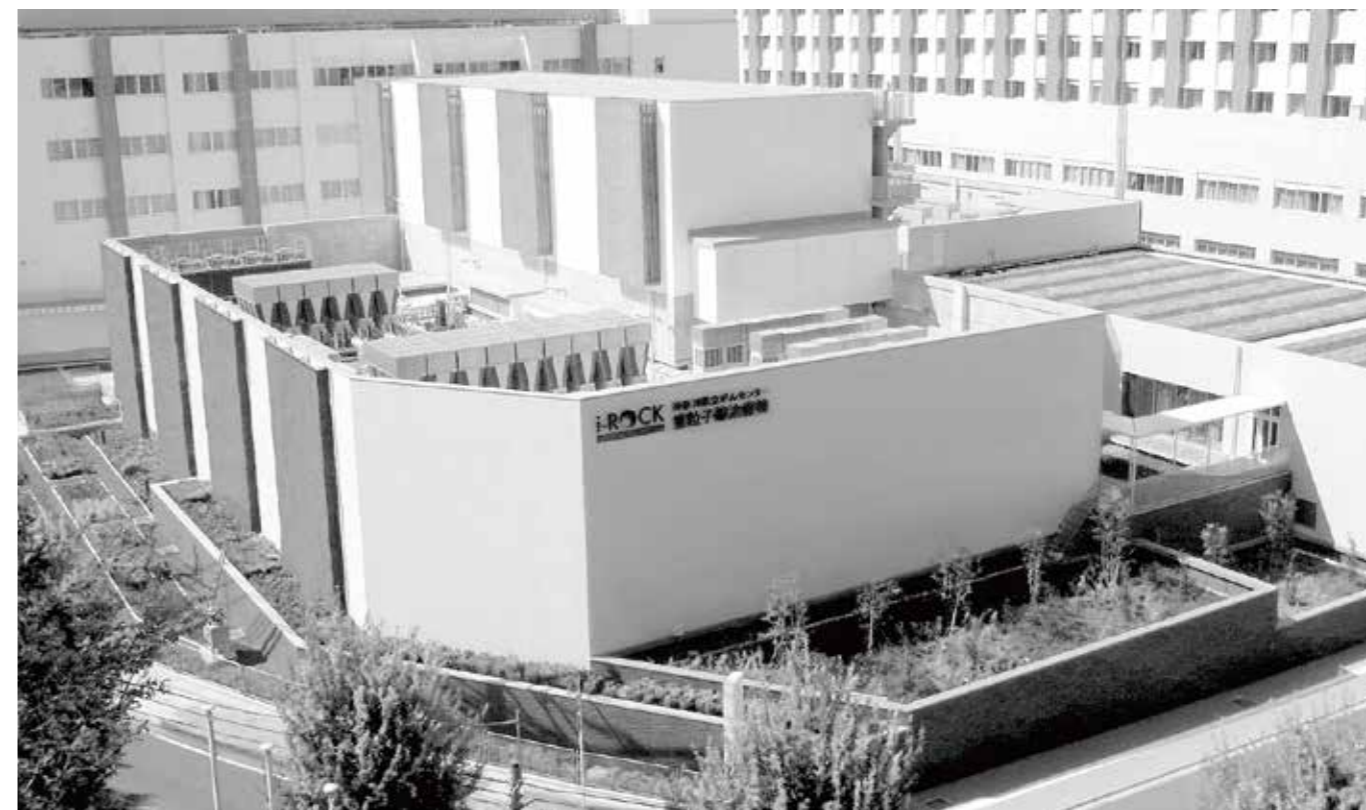


県立がんセンター

重粒子線治療装置 i-ROCK 稼働!!

県立がんセンター内に建設が進められてきた「重粒子線治療装置 i-ROCK」が完成し、治療を開始しました。重粒子線治療施設としては、全国で5か所目となります。

重粒子線治療装置とは、重粒子と呼ばれる炭素イオンを光の速度の7割ほどの速度に加速してがんの病巣に照射し、ピンポイントでがん細胞を死滅させ、他の正常な細胞は傷つけにくい。ほとんど副作用がありません。特に、メスを入れることのできない場所にできたがんや切除することによって術後の生活に影響が大きいがん（例えば口腔がんなど）の治療に大きな効果を発揮します。



※i-ROCK (アイロック)

「神奈川県の放射線腫瘍センターの重粒子線治療」(Ion-beam Radiation Oncology Center in Kanagawa)の略称です。

シンクロトロン(加速器)

シンクロトロンと呼ばれる加速器は直径 20m もある大きなもの、ここで炭素イオンを光の速度の 70%まで加速し、このビームを治療室へ送り、体内のがん病巣に照射します。

写真ではなかなかお伝えしにくいのですが、医療機器と呼ぶにはあまりにも大きなシンクロトロンのスケールは圧巻です。今回完成した建物の大半のスペースをこの機械が占めるのですが、日本が開発した独自の技術で、痛みも無いまま県民の身体からがん細胞を消し去る世界最先端の技術です。



治療台

重粒子線を正確にがん病巣に照射するため、患者さんの身体はコンピューター制御されたロボット治療台によって最適な位置に固定されます。i-ROCK では、最新の照射技術である高速三次元スキャニング照射法を用いて重粒子線治療を開始します。

この照射法は、細い重粒子線ビームで腫瘍を塗りつぶすように照射する新しい技術です。この技術を用いることで、腫瘍の形状に合わせて腫瘍だけに高い線量を集中させることができます。また、腫瘍の周りにある正常組織の線量を今までの照射法よりさらに低く抑えることができます。

また、従来の照射法では患者さん毎に補助器具を作成していましたが、この照射法では不要ですので、照射開始までの時間を短縮できます。

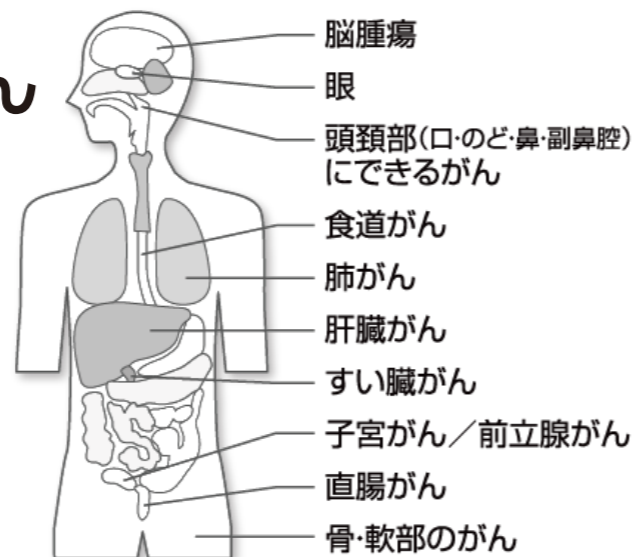


治療対象となるがん

重粒子線治療は、根治的治療（治癒を目的とした治療）の対象となるがんに対してのみ適用となります。

重粒子線治療装置によって治療できるがんは一つの部位に固まっている固形のがんであり、広範囲に転移しているがんや血液のがん（白血病）、過去に放射線治療を受けた部位は治療できません。

※(独)放射線医学総合研究所での実績に基づく



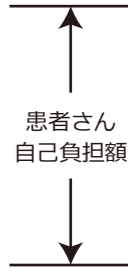
治療費について

現在、重粒子線治療は健康保険の適用外となっているため、費用は全額自己負担とせざるをえません。このため県では、この治療を健康保健の適用対象とするよう国に働きかけると同時に費用の1割（上限 35 万円）を補助するなどの取り組みを行なっています。

なお、この治療を受ける際には重粒子の照射を受ける以外にも診察や検査など一般の治療も同時に受けることとなります。県立がんセンターでの重粒子線による治療は「先進医療」として認められたため、この部分については健康保険が適用されることとなりました。

先進医療として行う重粒子線治療の技術料は 350 万円となり、それ以外の一般保険診療と共通する診察、検査、薬代などについては、公的医療保険を適用できます。

先進医療 (重粒子線治療)	350 万円(非課税)
一般の 保険診療 (診療・検査・ 投薬など)	自己負担 3 割
	保険給付金 7 割



i-ROCK (アイロック) は、「からだにやさしく、生活の質を重視した治療」を基本コンセプトに、短期間で副作用の少ない治療が可能です。正常な細胞を傷つけにくく、患者さんのからだにやさしく、短期間で副作用の少ない治療ができるため、生活の質を高めることができます。手術が困難な疾患や高齢者の方などの治療も可能です。

ワクチンによる治療

県立がんセンターでは全国でも稀な免疫療法によるがん治療を行なっています。がんペプチドワクチンを用いた治療は私たちの身体に備わっている、異物を除去しようとする力（免疫力）を高めることによってがんを治す治療法です。ただし、このがんワクチンは未だ保険承認されていないため、がんセンターではワクチン治療を臨床試験や治験として実施しています。そのため、対象となる疾患や病態が限られ、現在治療対象疾患は膵臓がん、食道がん、前立腺がん、大腸がん、肺がんです。

◎ワクチン治療に関するお問い合わせは
がんワクチンセンター直通 ☎045-520-2227
 (月～金 / 9:00～17:00 / 祭日を除く)



その他、県立がんセンターは全県のがん治療の中核病院としてあらゆるがん治療に関する研究を進めており、この度ゲノム研究の第一人者である宮野悟先生を総長として迎えました。次世代のがん医療の革新的な進歩は、宮野先生の専門分野である、遺伝子情報やスーパーコンピュータを医療に活用することによってもたらされると考えられており、今世界的に研究が進んでおります。